






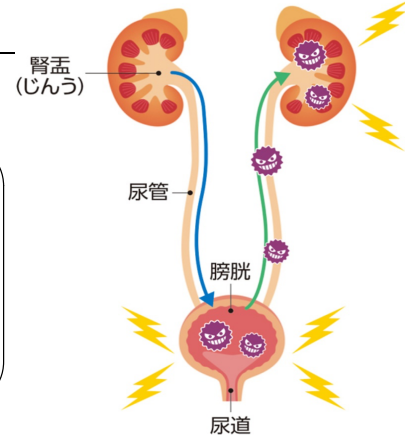
急性腎盂腎炎で入院された方へ

主治医 主治医以外の担当者 担当看護師 担当薬剤師 担当栄養士

患サポチェック：

患者さん氏名

様

	入院日	2日目	3日目	4日目	5～14日目	退院日		
目標	・症状の悪化がない ・日常生活動作が維持できる	・症状の悪化がない ・日常生活動作が維持できる	・症状の悪化がない ・日常生活動作が維持できる	・症状の悪化がない ・日常生活動作が維持できる	・症状が改善し、退院に向けての準備が出来る	退院基準 血液データ、症状が改善		
治療 処置	・補液と抗生剤の点滴をします 尿管ステントを留置する場合があります		・必要時血液検査をします		→ ・適宜血液検査をします			
検査	・39℃以上の発熱があれば追加で採血をする場合があります。尿管結石が無い閉塞の場合は、緊急手術で尿管ステントや腎瘻が必要になる場合があります。 ・血圧が不安定な場合は心電図モニターをつけます 昇圧剤を使う時があります							
食事	・食事を摂取できるか評価してから食事開始となります。食事の摂取量をみて点滴の量を調整します。 							
薬	・持参した薬を薬剤師が確認します	・医師から許可されたお薬のみ内服します ・自己管理が困難な場合は看護師がお薬を管理します			 敗血症と診断された場合は2週間の抗生剤治療が必要になります。			
排泄	・トイレ歩行可能ですが、高熱が出たときは尿道カテーテルを入れることがあります							
活動	・基本的にシャワー浴可能ですが、症状や血圧、熱の状態をみて看護師が体を拭く場合もあります							
清潔	高熱・発汗→清拭・シャワー・着替え、陰部洗浄 							
説明	・医師より、病状、入院治療計画について説明があります ・看護師より入院生活について説明があります	 <p>腎盂(じんろう)</p> <p>尿管</p> <p>膀胱</p> <p>尿道</p> <p>発熱の程度が強い、水分や食事が十分に摂取できない、血圧が下がる、全身状態が悪いなど重症の場合には、入院のうえ抗菌薬の点滴治療を行います。発熱がおさまれば、経口治療に変更可能です。尿路基礎疾患が見つかった場合は、併せてその治療も必要です。</p>			・退院の時期を医師と相談します ・看護師が退院後の生活の注意事項を説明します	・退院時に渡された抗生剤は飲みきって下さい ・38度以上の発熱、腰背部痛がある場合は下記にご連絡下さい 連絡先 03-3625-6381 (代表)		
指導	・適宜、薬剤師による服薬指導があります				上記、入院中の療養計画について説明を受けました 年 月 日		本人または家族の署名	
その他	・必要物品：不明な点をご質問ください 入院時に必要な物品はレンタルのご用意があります							

特別な栄養管理の必要性： 有 無

※ この経過内容は、当院での標準的な診療内容を記載しています。経過には個人差があるため、この経過通りに進まないことがありますが、その都度対応しますのでご安心ください。